

## 社会のために 私たちが出来ること

BASEの経営理念「社会の豊かさの想像」には

社会の平和、発展に寄与し、

未来の若者の為に明るい社会を創りたいという

思いがこめられています。

BASEはスポーツ界への貢献を通じて

未来を担うリーダーを数多く育成するとともに

徳島の未来のために社会貢献活動を行ってまいります。

友人であり、野球教室にも参加した  
プロ野球選手 杉本裕太郎氏

プロ野球選手 杉本裕太郎氏

# YUTARO SUGIMOTO

株式会社BASE 代表取締役 栗田宗一郎

# SOICHIRO AWATA

## プロ野球業界とBASEが手を取り合い 野球を通じて“地方創生”に取り組む

BASEの創業と同時に、私がやりたかったことのひとつは「野球を通じた社会や地元への貢献」です。小学校4年から大学卒業まで14年間続けた野球で、私自身が培ったものや学んだことは「社会に出ても生きることばかりだ」と、身をもって体験しました。そして、野球を通じて出会った人たちのご縁は私のかけがえのない財産となっています。こうした野球を通じた“人間教育”を、もっと多くの子どもたちや保護者の方に知ってもらいたいという気持ちを形にしたのが、地元・阿南市で開催している野球教室です。

年に1回、私の繋がりのあるプロ野球選手を阿南市へ招待し、子どもたちに野球を教えてもらっています。プロ野球選手になる人は生まれ持ったセンスや恵まれた体格があると思うかもしれませんが、でも、私が招待する選手たちは大学まで学校の先生を目指していたり、プロを意識してこなかったり、体格も人並みだったり、皆さんが思い描くイメージとは少し異なります。何か

のきっかけにスイッチが切り替わり、プロの道へ進んだ人を身近で見てきました。彼らは野球の技術に長けているのはもちろん、引退後もコーチとしてチームに関わるなど息が長く活躍し、プロ野球界から求められる人材です。これからの野球業界で活躍する可能性がある子どもたちに、彼らの野球との向き合い方、人としての在り方や考え方に触れる機会をつくることは、野球界はもとより社会に貢献する人を育てることに繋がると思いますし、その機会を創出することが私自身の使命だと感じています。甲子園に行くことだけがゴールではなく、プロ野球選手になるだけがゴールでもない。もっと長く野球を続けられる、もっと長く野球に関われる選手を目指す子どもが1人でも増え、そんな大きな夢を抱いた子どもたちが、次の時代の徳島を盛り上げてくれるような人になれば、徳島の活性化にも繋がっていくでしょう。これからも同じ志を持った仲間たちといっしょに、野球人口を増やせるように取り組んで参ります。